



12/10  
みんなに親しまれる博物館を目指して  
新博物館市民ワークショップ

新博物館での過ごし方や活動話し合うワークショップが市役所で開催され、連携授業で参画した土岐紅陵高校と岐阜高専の生徒らを含め多くの方が参加しました。「美濃焼に限定せず、読書や健康、運動などの使い方ができ、気軽に立ち寄れると良い」「ガーデニングなどを通じて多くの人が関わられるように」など新博物館をみんなに親しまれる施設にするための提案が出されました。



12/11  
実行委員から子どもたちへ  
もみじまつりの思いをつなぐ

20年以上の歴史に幕を閉じた曾木公園のもみじライトアップ。実行委員として運営を担ってきた水野健一委員長と岡島由久副委員長が濃南中学校を訪れ、活動に寄せた思いを語りました。水野委員長は「町民主体でこれだけのイベントをやったことを誇りに思う。町民の団結力にあらためて感謝したい」と話し、清掃活動などに参加していた生徒らにも感謝を伝えました。



12/17  
東美濃地方初の発見!?  
発掘調査現地説明会

泉西小学校の敷地内で発掘調査が進められていた隠居山須恵器窯跡の発掘現場で現場説明会が開催されました。窯跡は飛鳥時代末から奈良時代の初めごろのものと思われ、主に寺院に使われた瓦を焼く瓦窯であったことが確認されています。東美濃地方で初となる瓦窯の発見に、説明会の参加者は学芸員の説明に熱心に耳を傾け、当時のものづくりの技術の高さに感心していました。



12/22  
食物繊維が豊富な「おから」を食べやすく  
オリジナル給食料理コンクール

市内の中学校を対象に、「食」で人を元気にする研究とその研究にまつわる料理を募集する「オリジナル給食料理コンクール」が開催され、泉中学校の水野智浩さんが最優秀賞に選ばれました。水野さんは「おから」を研究テーマに、「しらす入りカレーおからコロッケ」を考案。「食べやすいようにしらすを入れて食感をよくして、カレー味にしました」と工夫した点を発表しました。

11/26  
舞台は起伏激しい総合公園  
第49回土岐市民ロードレース大会

4年ぶりに土岐市民ロードレース大会が開催され、年齢や走行距離によって分けられた16部門に2歳～80歳の345人が参加しました。第49回の今回はコースが土岐川堤防道路から総合公園に変更され、参加者は起伏に富んだ園内のコースをペース配分に気を配りながら走り抜けました。  
※各部門の1位を20ページの情報ひろばで紹介しています。



11/26  
健康を考えるきっかけに  
第46回健康展「ときげんきフェスタ」

「健康」に対する関心を高めるイベント「ときげんきフェスタ」がセラトピア土岐で開かれ、健康や食生活改善などの相談ブースが設けられたほか、血圧や骨密度などの各種測定コーナーやときげんき体操講座でにぎわいました。参加者からは「楽しみながら健康に関することを知れて良かった」「元気であるために意識して体を動かしたい」などの声が聞かれました。



12/2  
エネルギーの「創・蓄・省」を楽しく学ぶ  
太陽光パネルと蓄電池で照明づくり

太陽光発電などの再生可能エネルギーの仕組みやメリットを学ぶ工作教室が文化プラザで開かれ、参加した21組の親子が太陽光パネルと蓄電池を使ったLED照明づくりを体験しました。コネクタの接続など細かい作業に苦戦しながらも、親子で協力して照明を作り上げた参加者からは「難しかったけど楽しかった」「さっそく家で使ってみよう」などの声が聞かれました。



12/6  
ぼくが、わたしが考える  
社会を明るくするために必要なことは

法務省が主唱する「社会を明るくする運動作文コンクール」の表彰式が文化プラザで行われ、市内の小中学校から寄せられた214作品の中から選出された5人に表彰状が贈られました。中高生による犯罪を取り上げた田中理舟さん（泉中学校3年）は「成人年齢が18歳に引き下げられた今、中学生のうちから社会に通じる力を身に付ける必要がある」と訴えました。



市ホームページ「ときめきの瞬間」(HP 1006765) でもイベントの様子を紹介しています。